

全国学力・学習状況調査の結果からみる本校の傾向

毎年、全国の小学6年生、中学3年生を対象に調査（国語・数学）が行われています。昨年度は中止となりましたが、今年度は5月27日に全国一斉に実施されました。ところが、本校では調査当日にコロナウイルス感染症に係る臨時休校であったため、その翌日に実施することになりました。先月末に結果が届きましたので、本校の調査結果についてその傾向を説明します。

（１）各教科の本校正答率と全国平均との比較及び各教科の強みと弱みについて

【国語】

本校の平均正答率 63 ポイントに対して、全国は 64.6 ポイントとなり、全国比-1.6 ポイントとなりました。観点や領域別にみると、言語に関する知識・理解・技能については全国平均とほぼ変わらず、また、書く能力については、全国比+2.7 ポイントと高い正答率といえます。一方、話す・聞く能力については全国比-3.9 ポイント、読む能力については全国比-3.8 ポイントと低い正答率となりました。



本校の強みとしては、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く問題の正答率が高いことがあげられます。また、弱みとしては、文脈の中における語句の意味や登場人物の心情を読みとる問題の正答率の低さ、話し合いの方向や質問の意図を捉える問題の正答率の低さがあげられます。読む能力、話す・聞く能力の問題については、どちらも無回答率が低いことから、正しく読みとることが苦手な様子が見られます。

【数学】

本校の平均正答率 56 ポイントに対して、全国は 57.2 ポイントとなり、全国比-1.2 ポイントとなりました。観点や領域別にみると、技能を問われるものについては全国平均とほぼ変わらず、高い正答率といえます。一方、見方を問われるものについて正答率は低く、全国比-2.2 ポイントとなっています。また、一昨年の自校との比較をすると、関数領域において、10 ポイント程度の増加がみられました。



本校の強みとしては、例年、数と式の領域において技能の正答率が高いことがあげられます。弱みとしては、説明を求められる問題で無回答率が高い傾向があります。問題を理解することや、それに対して数学的に表現するということが苦手な様子が見られます。

【裏面もお読みください。】

(2) 生徒質問紙からみる本校生徒の特徴

生徒質問紙より (一部抜粋) 肯定的評価の割合 (%)

質問事項	本校	全国
自分には、よいところがあると思う。	87.6	76.2
将来の夢や目標を持っている。	79.3	59.5
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している。	74.7	65.9
人が困っているとき、進んで助けている。	93.8	88.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことである。	97.9	95.9
人の役に立つ人間になりたい。	95.9	95.0
学校に行くのは楽しいと思う。	87.1	81.1
家で自分で計画を立てて勉強している。(授業の予習復習を含む)	72.2	63.5
平日、学校の授業以外に2時間以上勉強している。(塾等を含む)	39.6	41.8
休日、学校の授業以外に2時間以上勉強している。(塾等を含む)	58.2	53.5
平日、2時間以上、テレビゲーム(コンピュータ、スマホ等を含む)をしている。	66.5	57.0
国語の勉強は好き。	60.3	60.8
国語の勉強は大切だと思う。	90.7	91.6
数学の勉強は好き。	61.3	59.1
数学の勉強は大切だと思う。	92.3	84.1
コロナ感染拡大で学校が休校していた期間中、勉強に不安を感じた。	67.0	62.8
コロナ感染拡大で学校が休校していた期間中、計画的に学習できた。	48.4	37.6
コロナ感染拡大で学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送れた。	57.7	48.4

生徒質問用紙からは、本校3年生は自己肯定感が高いことや、自分の将来の目標を意識して学習に取り組む姿勢がわかります。さらにコロナ禍においても規則正しい生活を送り、計画的に学習している様子も見られました。

学校生活に関しては、「学校に行くのが楽しい」と答える生徒の割合が高く、「いじめはどんなことがあってもいけないことだ。」という生徒が97.9%おり、「人が困っている時は進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」と答えた生徒の割合も高いことがわかります。これらのことから、自分だけが楽しければよい、というわけではなく、周囲と協調を図り、集団生活を送ろうとする意識が高い生徒が多いと考えられます。

この調査は、文部科学省が全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、各学校においても自校の児童生徒の状況を把握し、指導の改善に役立てるためのものです。本校においては各教科ともに正答率が全国平均を下回りましたが、さらに結果の分析を進め、改善すべき点を明らかにして授業改善等に活かしたいと考えています。

今後も学校、家庭が連携し、生徒のより良い成長を促したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。